

香取市 農業集落排水事業経営戦略【概要版】①

1. 策定の趣旨及び計画期間

農業集落排水事業の今後の経営環境は、人口減少に伴う使用料収入の減少、施設の老朽化に対応するための改築・更新費用の増大が見込まれ、事業経営を巡る情勢は今以上に厳しくなることが想定されます。本市では、平成 28（2016）年度に農業集落排水事業経営戦略を策定し、安定的な運営に努めてきました。令和 4（2022）年 1 月に総務省から人口減少や物価上昇等を反映した、より質の高い経営戦略となるよう令和 7（2025）年度までに見直しを行うことが求められています。

これをうけて、更なる経営基盤強化と財政マネジメントの向上に取り組むため、農業集落排水事業経営戦略を改定するものです。

なお、本戦略の計画期間は、令和 7（2025）年度から令和 16（2034）年度の 10 年間とします。

2. 事業概要

本市の農業集落排水事業は、香北地区、阿玉台久保地区、岡飯田地区、白井山川地区、八本地区、新福寺地区、黒部川右岸地区の 7 つの処理区があり、それぞれの処理区で汚水処理を行っています。7 つの処理区のうち最初に供用を開始した地区は、昭和 61（1986）年 1 月の香北地区です。令和 5（2023）年度末の全ての地区の処理区域内人口は 2,857 人です。

近年の投資状況は、主に農業集落排水処理施設の改築・更新を計画的に行っています。

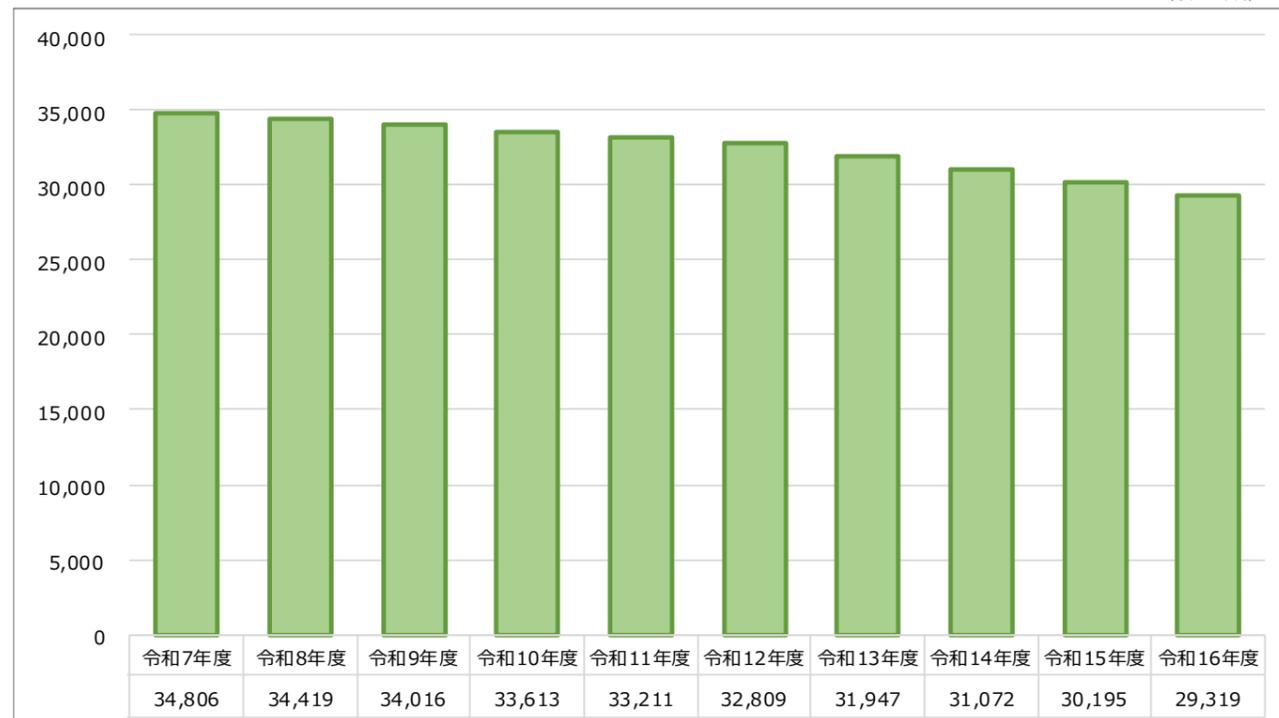
3. 今後の予測

(1) 使用料収入の予測

農業集落排水事業の使用料収入は、処理区域内人口の減少に伴って、今後減少していく見込みです。

■使用料収入

(単位：千円)



(2) 今後の事業の予定

施設の老朽化に対応するため、点検・調査を基に、具体的な施設管理目標及び長期的な改築・更新シナリオを設定し、より長く安心安全に施設が使えるよう対策を行う予定です。今後の事業は、耐震工事、老朽化に伴う改築・更新工事のための投資が続くことが見込まれます。

■投資（建設改良費）の推計

(単位：千円)

年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度
投資	73,437	261,000	222,500	14,000	10,500	19,500	110,500	118,400	110,500	112,400

4. 経営の基本方針

安定的な運営を持続するために、次の 8 つの基本方針を設定しました。

基本方針1 他会計繰入金の削減と経常収支比率100%以上の維持

経常収支比率は令和 5（2023）年度現在 100%を上回り、収支は黒字となっています。ただし、経常収支比率は一般会計からの繰入金等の収益も含まれているため、公費負担分である基準内繰入金を除く基準外繰入金に関する部分は、削減していくことが求められます。そこで、収入増加や経費削減等の経営努力をしながら基準外繰入金を削減しつつ、経常収支比率 100%以上の維持を目指します。

※経常収支比率とは、使用料収入や一般会計からの繰入金等の収益により、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標であり、単年度の収支が黒字であることを示す 100%以上となっていることが必要です。

基本方針2 経費回収率の向上

経費回収率は 100%を下回っており、経費を使用料で賄えていない状況です。経費回収率の向上を目指し、収益の改善及び経費の削減に努めます。

※経費回収率とは、汚水処理に係る費用（汚水処理費）を、どの程度使用料で賄えているかを表した指標であり、100%以上であることが必要とされています。

基本方針3 効率的な投資

本市の農業集落排水処理施設は、供用開始から 39 年以上経過している施設もあり、これまでも定期的な点検・調査を行い、必要な設備更新、修繕等により老朽化対策を実施してきました。引き続き各種投資事業に係る優先順位を踏まえ、効率的な投資を行うように努めます。また、投資に当たっての財源として補助金等の活用を推進し、今後の財政的な負担を軽減するよう努めます。

基本方針4 適切で計画的な事業執行

維持管理費の増加傾向から厳しい経営を強いられており、財源が限られるなか、適正な事業計画と財政計画を基に、健全な財政運営を目指し持続可能な経営を行います。

基本方針5 農業集落排水事業の理解促進による水洗化率向上

農業集落排水処理施設については、衛生的で快適な生活を送るために欠かせない施設であるにも関わらず、普段は目につくことが少ないため、住民の理解を得られにくい状況にあります。農業集落排水事業を持続的かつ安定的に運営していくためにも、地域住民に対して農業集落排水処理施設の役割や仕組み等の理解促進を進め、農業集落排水管路への接続の促進を図っていきます。

香取市 農業集落排水事業経営戦略【概要版】②

基本方針6 人材の育成

日常の施設管理を適切に行い、既存施設の長寿命化を図るため、また、人口減少等の社会情勢の変化に伴う新たな課題に柔軟に対応するために、職員の確保と育成に努めます。

基本方針7 経営戦略の定期的な見直し

人口減少に伴い使用料収入の減少が見込まれるなかで、既存施設の老朽化が進み、大規模な改築・更新工事が必要になるため、今後の施設の更新需要や処理水量、財務状況の検証等を行い、経営戦略を概ね5年ごとに見直し、改定することとします。

基本方針8 弾力的な使用料の見直し

経営戦略の進捗検証と同時に、将来的に経常収支比率100%以上及び経費回収率の向上を目指すために現状及び将来の経営状況を踏まえて、農業集落排水処理施設使用料が適正であるか検討していきます。

5. 投資・財政計画（シミュレーション）

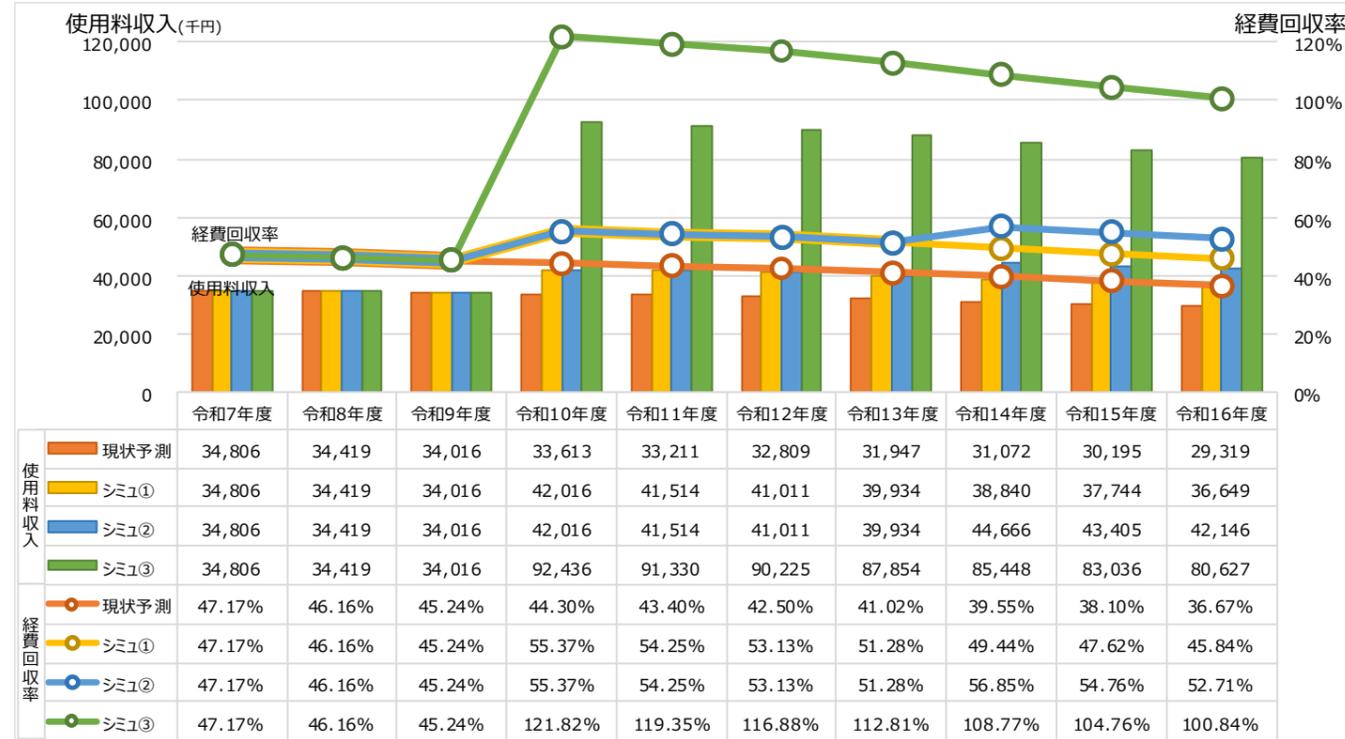
現状予測に基づく投資・財政計画では、人口減少などによる使用料収入の減少と物価上昇などによる経費の増加で、収支の悪化が予想されるため、改善に向けた投資・財政計画を試算します。

【シミュレーションパターン①】 令和10（2028）年度の使用料収入を25%増加する。
基準外繰入金を、前年度の97%とする。

【シミュレーションパターン②】 令和10（2028）年度の使用料収入を25%増加する。
その後令和14（2032）年度に15%増加する。
基準外繰入金を、前年度の97%とする。

【シミュレーションパターン③】 計画最終年度において、経費回収率100%以上とする。

■使用料収入及び経費回収率の推移



シミュレーションの結果は、下記のとおりです。

【シミュレーションパターン①】

令和10（2028）年度に使用料収入を25%増加した場合は、最終年度において、経費回収率が45%にとどまります。

【シミュレーションパターン②】

令和10（2028）年度に使用料収入を25%増加し、その後令和14（2032）年度に使用料収入を15%増加の場合は、最終年度において、経費回収率が50%以上となります。

【シミュレーションパターン③】

計画最終年度において、経費回収率100%以上とする場合は、令和10（2028）年度に使用料収入を175%増加する必要があります。

6. 経費回収率の向上に向けたロードマップ

現状予測に基づくシミュレーションでは、計画最終年度で経費回収率が30%台まで下がる見込みです。本来、経費回収率は100%を目標とすべきですが、香取市農業集落排水事業の特徴（処理施設が小規模による経費の割高傾向）や利用者への経済的負担及び類似団体平均値などを考慮し、本経営戦略においては、業績指標、目標年限及びロードマップを以下のとおり、設定します。

【業績指標及び目標年限】

	令和5（2023）年度 実績	令和11（2029）年度 目標	令和16（2034）年度 目標
経費回収率	49.50% 類似団体平均 61.15%(R5)	50%以上	50%以上
経常収支比率	122.50% 類似団体平均 103.07%(R5)	100%以上	100%以上

【ロードマップ】

	① 令和7年度	② 令和8年度	③ 令和9年度	④ 令和10年度	⑤ 令和11年度	⑥ 令和12年度	⑦ 令和13年度	⑧ 令和14年度	⑨ 令和15年度	⑩ 令和16年度
経営指標の検証	→									
経営戦略の見直し					○					○
使用料改定の検討	→				→					
使用料改定（必要時のみ）				○				○		

7. 進捗管理・検証・見直し



経営戦略は、PDCAサイクルにおける計画（Plan）に位置付けられます。今後は実行（Do）、検証（Check）、改善（Action）等のPDCAサイクルを確実に実施することが重要です。毎年度、進捗管理や計画実績との乖離検証を行い、概ね5年度ごとに施策と目標の見直しを行います。